平成２８年度東筑摩塩尻ＰＴＡ連合会　第1回単位PTA会長会　議事録

日時：平成２８年５月７日（土）午後１時より

場所：東筑摩塩尻教育会館

1. **開会行事**　（進行：川﨑副会長） 15:00

 (1)開会の言葉　（佐藤副会長）

 (2)単位PTA学校活動計画紹介

発表順番

 ①吉田小　②桔梗小　③塩尻東小　④塩尻西小　⑤坂井小

 ⑥朝日小　⑦木曽楢川小　⑧楢川中　⑨両小野中　⑩広陵中

 (3)まとめ

 (4)連絡事項

 (5)閉会の言葉

1. **単位PTA学校活動紹介**　（司会：川﨑副会長） 15:02

発表順に、各単位PTA会長より、今年度のＰＴＡ活動計画などについて発表。

**①吉田小**

行事を企画し外部業者(ラーメン屋)のブースを作成したところ非常に好評だった。

区ごとに人数割合に差があり、支部での先行で悩んでいる。

**②桔梗小**

　PTAとしての規模は大きいが、行事に対する参加率が低い。

　PTAの情報発信方法としてHPを活用している。

**③塩尻東小**

役員負担軽減のために専門委員・部会を減らす対応策に取り組んでいる。

子どもから活力をもらって、子どもと一緒によりよい活動をしていきたい。

**④塩尻西小**

特徴的PTA活動としてバザーがある。

他校PTAと共同事業を模索中。

**⑤坂井小**

　生徒数が少ない中が、つなひきじゃんけんぽん大会といった行事を行い、活動をしている。

**⑥朝日小**

少子化が懸念され、村の課題であり村の良さを子ども伝えていきたい。

信州型CSへの取り組みが本格始動。

村主体の事業に参加協力することで、運営費用・負担が抑えられている。

**⑦木曽楢川小**

地域の中心が学校になるようにイベントに参加し地域全体で学校を盛り上げてもらう。

年々大きくなるPTA役員負担を軽減するためにも地域全体の活動にする。

PTA準会員制度を導入し、地域の人に子どもたちを見てもらう。

**⑧楢川中**

学校の周りで駅伝を実施し地域の人の参加もあり。今年も多くの方に参加してもう。

小さな学校なので、一人一人の負担が大きいので、地域の皆さまの協力もとにやっていきたい。

役員負担が大きくなったため役員選出ルール変更した。

**⑨両小野中**

人数が少なく、PTAへの参加が得られない。

地域の特色を生かした活動をする。小野地区宿場町を生かしたイベントへの参画。

地域の方々を講師に勉強会を実施。

**⑩広陵中**

役員は地区ごとの輪番制だが、地区ばらつきが大きく、公平性の観点で次年度より調整を行う。

　PTAバザーを実施。収益金は学校の整備などに使用した。

街頭指導。ネットへの接続等の指導や、子どもの視野を広げるための講演会を実施。

1. **まとめ**　（中澤校長先生） 15:20

参加率・予算の悩み・特徴活動の紹介により共有できてよかった。まねることも大切。

中教審（国の機関）昨年の答申で、地域とともに作る教育づくり学校中心の教育という流れが、国として、地域とともにとなってきている。子どもたちが何をもとにそだっていくのか？といったということが必要になる。大人が頑張っていくモデルが必要。地域総当たりで作っていかなくてはいけない。

1. **諸連絡** 15:25
2. **閉会の言葉**　　（佐藤副会長）　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 15:28

終了